

アフリカ平和再建委員会 活動レポート

2003年12月



2003  2004
今年もありがとうございました



今年も紛争と暴力が地球上を覆ったような1年でした。あたかもダイナマイトで岩山を崩し、ブルドーザーで地ならしするかのようなアフガニスタンやイラクでの状況の前では、「平和構築」という言葉にも空しささえ感じざるを得ません。

一方アフリカでは、ブルンジ、コンゴ、アンゴラ、シエラレオネ、リベリア、コートジボワールなどで紛争が始まったり、停戦が合意されたりしております。ルワンダでも虐殺から9年が経ちました。

先ごろルワンダに短期訪問しましたが、内戦後、ルワンダ人の中の貧富の差の拡大に愕然としました。戦争で腕を切られたのであろう子どもが汚い服をまとって物乞いをする横を、きれいな4WDに乗って走る家族連れ——。経済だけの問題ではなく、土地や財産を不法に奪い取られたり、不当逮捕によって拘留されている間に職を奪われたりする人の話しも耳にします。ARCは現在、ルワンダで奨学支援や職業訓練を行っておりますが、現地での活動基盤を着実に固めていき、その上で武力紛争の根本原因である社会的不正義に対していかに取り組むべきかを考えていかなければならないところまで来ているのだと感じました。ARCは2004年、創立10周年を迎えます。

小峯茂嗣 ARC事務局長

ルワンダ

孤児院ギシンバ・メモリアル・センター (Gisimba Memorial Centre) について

設立経緯

現代表者、ダマス(Damas MUTEZINTARE GISIMBA)の祖父、ギシンバ(GISIMBA)は1945年からカソリック教会を建設するため、司祭と共に働いていました。ギシンバは他の人々、特に子供を助けることが好きでした。彼はかつて、世話をしてくれる人がいない子供たちを家に集め、自分の子供のように教育、医療を含めて面倒を見たのです。

ギシンバの死後、彼の息子がその子供たちを面倒見るために引き取りました。彼はかつて、Catholic Relief Servicesという団体で働き、1980年に孤児院を設立し始めたのです。しかしながら、彼は1986年に亡くなりました。孤児院の建物は未完成でした。

彼の息子、ダマスは当時この子供たちと共に暮らしながらも、まだ独身の身でした。彼は、この活動がすばらしいと考え、ダマスにアドバイスを与えた、父の友人の助けを得て、1986年にこの孤児院を協会として登録したのです。



代表ダマス・ギシンバ氏

支援者

時あるごとに、たくさんの個人やNGOが、彼らの与えられるものをギシンバに支援しています。現在、American OrganizationやMusic for Lifeが食料、医療そしてKINDELHULPにおいて資金援助しています。Rwanda from Belgiumは教室の建設、また石

鹸などを支援しています。

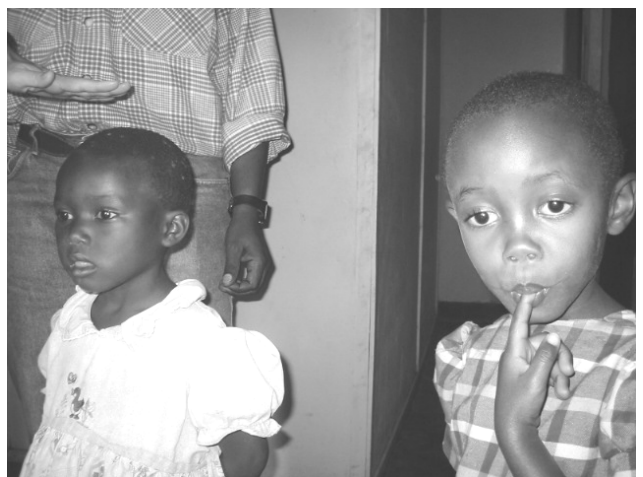


ギシンバ・メモリアル・センターの孤児たち

施設状況

コック、掃除人、家庭教師、そしてソーシャルオーガナイザーなどを含め、24人の労働者を抱えています。施設の中には、男の子用、女の子用、労働者用の寮があります。寮母が女の子用の寮に寝泊りします。

キッチン、多目的ルーム、育児室、そして事務所があります。現在、バスケットコートも建設中です。



子供たちの状況

入院の理由：ジェノサイド、HIV/AIDS、知的障害、ストリートチルドレン、貧困、両親の死、難民帰還など。

当孤児院はHIV/AIDSテストは特にしません。子供たちが病気になって病院に入院した時に

感染を知るのです。また感染した子供たちを分けることもしません。

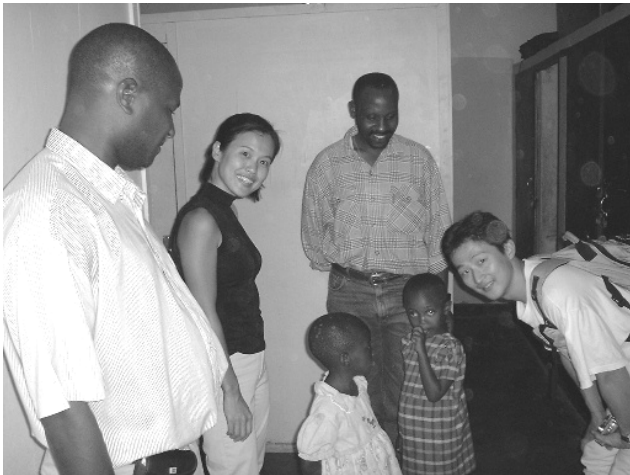
当孤児院には1歳半の赤ちゃんを除いて、3歳半～21歳の間の子供たちがいます。その1歳半の赤ちゃんは知的障害があります。21歳の子は現在大学に通っています。

当孤児院には現在171人の子供たちがいます。23人は孤児院の外で暮らしていますが、学費や医療の面で支援を続けています。

障害のある子たちや知的障害を持つ子供達はギコンド（Gikondo）にあるメソジスト教会学校に通っています。

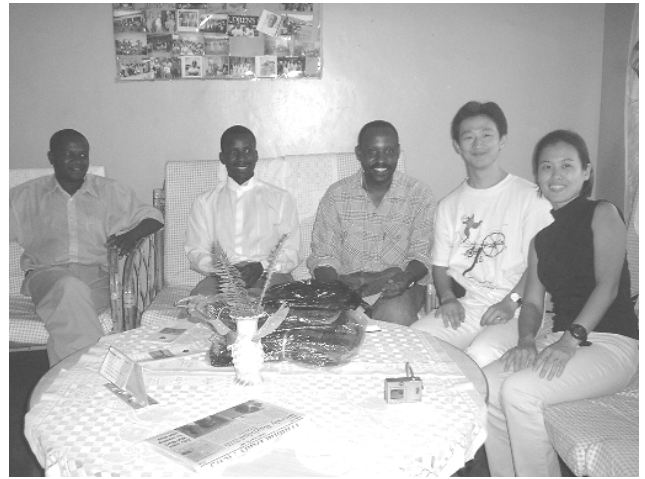
センターの最優先事項は教育であり、すべての子供たちは学校に通っています。しかし、彼らは学校用具、カバン、制服を持っていません。

この孤児院には91人の小学生（メソジスト教会学校を除いて）がいます。76人が教育面での支援を受けていません。その中にはキニヤルワンダ語が話せないために2人が私立の学校に行っており、また別の2人は孤児院の外に住んでいます。



コメント

Gisimba Memorial Centre は AMIDOR 孤児院（ARC が奨学支援をしている）から近くに位置し、ミニバスタクシーに乗れば両者間は10分程度のものです。1994年虐殺当時、ダマスが子供たちや人々をかくまって命を助けたため、英雄伝的にも、ここは非常に有名です。ダマスの崇高な行動が記録されたレポートがイギリスの African Rights という団体から出ています。タイトルは「Rwanda: The Gisimba Memorial Centre: No place for fear, A tribute to Damas」で、22ページあり、2003年4月に出されたものです。ホームページから注文できます（<http://www.africanrights.org>）。



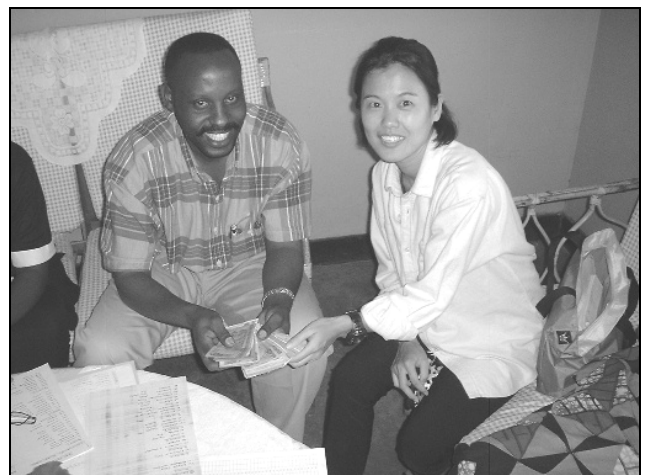
（報告：分部真由美ルワンダ事務所インターン）

ARC ルワンダ奨学基金事業

ご報告

「孤児の自立のための支援に感謝」

「ARC ルワンダ奨学基金」は、ギシンバ・メモリアル・センターの孤児に対する奨学支援も行うことにしました。AMIDOR 孤児院の孤児たちを含め、2003年度は105人の孤児を支援できることになりました。この場を借りて御礼申し上げます。ルワンダでは孤児に対する奨学金支援は珍しいものらしいです（意外でしたが）、センターのスタッフによると、食べ物や服といった物的支援をしてくれる団体や個人はいるとのことですが、「孤児たちが教育を受けて、自分の力で生きていける能力や技術を身につけ、自立できるようになることはとても大事だ。そういう意味で支援にとても感謝しています。」とのことでした。



支援金を手渡す高美穂 ARC ルワンダ代表

ルワンダ平和再建・国民和解支援事業にご協力ください

ARC は、1994 年のルワンダ内戦・虐殺以来、ルワンダの平和再建と国民和解促進を目的に、現地 NGO と支援事業を行ってきました。虐殺から 9 年が経ちましたが、その前途はまだ多難といわざるを得ません。

過去の事業（1994～2000）	現在の事業（2000～）	計画中の事業
現地 NGO へ車両・機材提供 現地 NGO の会議開催支援 破壊された住宅の修復支援 農村支援（養蜂活動振興） 法曹養成支援（法律書寄贈） 新設校へ机・いす等の寄贈 校舎増設と雇用創出活動 職業訓練校へのミシン寄贈	戦災未亡人の職業訓練活動 （洋裁技術、バナナ工芸品 製作技術） 孤児のための奨学支援活動 （ARC ルワンダ奨学基金） フェアトレード活動 虐殺裁判調査	コミュニティセンター建設 除隊兵士社会復帰支援 事業評価ミッション派遣 孤児院の衛生状況改善支援

ARC ルワンダ奨学基金へのご支援をお願いいたします

ARC は、94 年のルワンダ内戦・虐殺や、エイズで親を失った孤児たちの就学のための「ARC ルワンダ奨学基金」という奨学支援活動を行っております。2004 年度（新学期は 9 月から）の奨学金を募集しております！

1 口 8,000 円 - 1 口につきルワンダの子ども 1 人が 1 年間学校に通えます！

あなたの支援している子どもの写真や直筆の絵があなたのもとに届きます！

年間授業料：約 2,000 円 文具・制服・カバンなど：約 2,500 円

その他：送金手数料、フィルム代、現像代、郵送費などの事務経費

* 支援対象となる子どもたちは、現地の孤児支援団体と協議の上、決定しております

事務局ボランティア募集

業務内容

- ・ホームページ更新
- ・勉強会等の企画 / 運営
- ・物品販売
- ・募金箱設置
- ・パネル展示等の企画の運営
- ・パンフレット等のデザイン

希望する人物

- ・ワード、エクセルの基本的な機能は扱える
- ・事務経験がある（アルバイトも含め）
- ・文章を翻訳できる程度の英語ができる（できれば仏語も）

活動曜日・時間帯：相談に応じます（ただし月曜日～金曜日の 10:00～17:00）。定期的に来ていただける方を歓迎いたします。週 1 日でも OK です。

書籍紹介「報告書 - ARC ルワンダ奨学基金 2002」

2002 年度はルワンダの 36 人の孤児たちが小学校に通えることになりました。ARC は子どもたち一人一人の背景や、将来の夢について聞き取りを行い、冊子にまとめました。1 部 500 円（送料別）です。

(1)希望部数、(2)氏名、(3)送付先住所、(4)電話番号を記し、事務局までお問合せください（E-mail：intrband@gol.com、FAX：045-439-4004）。現物が到着した後に、お支払いをお願い致します。

アフリカ平和再建委員会（Africa Reconciliation Committee: ARC）

〒222-0026 神奈川県横浜市港北区篠原町2816-22 B1F-A

Tel：045-439-4002 Fax：045-439-4004 E-mail：intrband@gol.com

ホームページ <http://www2.gol.com/users/intrband/arc>

